

中村園太夫座公演

阿波人形浄瑠璃

芝居公演



式三番叟

傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

新野中学校民芸部

三十三所花の山 壺坂靈驗記 沢市内の段 山の段

中村園太夫座

一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段

中村園太夫座

現代仮名遣い床本
無料配布
(先着二〇〇名)

令和8年

1.25

【日曜日】

12:30 開場 / 13:00 開演 (15:50 終演予定)

阿南市文化会館夢ホール

阿南市富岡町西池田135-1 TEL.0884-21-0808

お問合せ / 阿南市文化振興課 tel.0884-22-1798

入場料

200円 (小中高生無料)

※未就学児は入場できません

チケット

平惣書店阿南センター店
阿南市情報文化センター
阿南市文化会館

阿波人形浄瑠璃 芝居公演

中村園太夫座公演



しきさんばそう 式三番叟

正月に宮中で上演される。天下泰平・五穀豊穰・家内安全、さらに舞台公演の無事を祈願して行います。

けいせいあわのなると じゅんれいうたのだん 傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

太夫：宮崎照美 三味線：鶴澤友丸 人形：新野中学校民芸部

盗まれた主君の刀を詮議するために、阿波の十郎兵衛・お弓の夫婦は、大阪玉造に住んでいました。そこへ順礼の姿のお鶴が現れます。父母に会いたい一心で困難な旅を続けてきたお鶴のいじらしさと、母親であると名乗ることのできないお弓の、引き裂かれるような胸の内観る者の涙を誘います。

さんじゅうさんしよはなのやま つぼさかいらいげんき 三十三所花の山 壺坂靈験記

さわいちうちのだん やまのだん

沢市内の段 山の段

太夫：久次米三枝子・宮崎照美

三味線：鶴澤友丸 人形：中村園太夫座

大阪壺坂に住む座頭・沢市は、琴や三味線を教えながら、美しい女房・お里が洗濯物などの賃仕事をしてくれるのをたよりに細々と暮らしていました。夫婦になって丸三年目、毎夜七つ（午前4時）からお里が家を留守にするので、沢市はいぶかしく思っています。それを知ったお里が驚き、「実は盲目になった沢市さんの目を治そうと一生懸命観音様に祈願してきたのだ」と、その真実を切々と打ち明けます。お里の思いに感謝しつつ、観音様へお参りに来た沢市は、三日間の願掛けを決意します。

いちのたにふたばぐんき くまがいじんやのだん 一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段

太夫：竹本友廣 三味線：鶴澤友輔 人形：中村園太夫座

舞台は一の谷合戦後の須磨の浦の熊谷直実の陣屋。熊谷の妻相模（小次郎の母）と藤の方（平敦盛の母）がお互いの子の身の上を案じ、陣屋を訪ねてきます。熊谷は相模に女の身で陣中へ来ることならぬと冷たいそぶりを見せませんが、敦盛を打ち取ったと語ります。その時、襖の陰から藤の方が「我が子の敵熊谷やらぬ」と熊谷に切りかかります。熊谷は藤の方を丁寧にささげり戦場での健気な敦盛最後の様子を物語ります。

阿波人形浄瑠璃は、平成11年、国の重要無形文化財に指定されました。「中村園太夫座」は阿南市新野町中分地区に江戸末期より伝わり親しまれてきており、その伝承の芸は新野中学校民芸部など若い人たちにも受け継がれています。郷土の誇り「阿波人形浄瑠璃」の舞台を夢ホールでお楽しみください。

中村園太夫座



中村園太夫座は、江戸末期の文化2（1805）年ごろには活動をしていた阿波人形浄瑠璃芝居の一座です。活動が継承され、現存する座の中では日本で最も古い人形座の一つといわれています。私たちは毎年1月の最終日曜日にこの「夢ホール」で定期公演を行うほか、各地の敬老会や介護施設などで年間約10回の公演を重ねています。近年は創作浄瑠璃『阿波遍路恋唄』等にも取り組み、表現の可能性を広げています。代々受け継いだ古い頭や衣裳も多く、時代物『一谷嫩軍記』『絵本太功記』などを上演できる数少ない座として、夢ホールの舞台を目指し日々精進しております。この度の公演にご来場いただけましたら、幸いです。

新野中学校民芸部



新野中学校民芸部は、現在5名で活動しています。3年生が卒部し、一時は部員が3名になってしまいましたが、10月に新たに2名の仲間が加わり、本日の舞台に立たせていただけることになりました。

私たちは阿波人形浄瑠璃という郷土の伝統芸能を受け継ぎ、日々活動しています。練習は週一回ですが、中村園太夫座のみなさんにご指導をいただきながら、今日のために一生懸命練習してきました。また、地域の祭りや芸能大会に出演させていただくなど、私たちの活動は地域のみなさんの温かいご支援に支えられています。

これからも、この貴重な伝統芸能を大切に受け継ぎ、より多くの方々に感動と楽しさをお届けできるよう、民芸部をさらに盛り上げていきたいと思っております。